

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立 鏡中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	未達成の項目もあるが、昨年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止のために学校行事を縮小する中ではあったが、泊を伴った修学旅行、合唱コンクールなど、生徒の活動を重視した教育課程を推進することができた。学校行事の参観や、合唱コンクールなど、メール等での配信を行い、できるだけ保護者にも生徒の様子を参観いただいた。今年度も生徒の出番・役割・承認する活動に重きを置き、生徒個々の自己肯定感を高めるとともに学級や集団の力を伸ばしていく。学力向上に関しては、「わかった」「できた」を実感させ、学力の定着なるために、授業実践を行いながら学力向上を目指したい。
------------------	---

2 学校教育目標	ともに学び 心がふれあう学校
----------	----------------

3 本年度の重点目標	① 意欲的に学ぶ 1.わかる授業の展開 2.家庭学習の取組 ② 礼・心をつくす 1.自己肯定感を高める活動 2.地域を愛し地域と繋がる ③ 元気ハツラツ 1.体力向上の推進 2.安全教育の充実
------------	--

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ○学びに向かう力を高める学習活動の研究～「わかった・できた」を実感できる授業実践～	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上 ○生徒アンケートにおける各教科の「○の授業内容はよくわかる」に肯定的に答える生徒80%以上。	・校内研修を中心に、教職員にマイプランに対する共通理解を行い、学校全体で取組の促進を図る。 ・導入・めあて・発問・グループ活動・声かけ等の工夫を行い、全員で共有する。			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「人が困っているときは、進んで助けたい」と肯定的な回答をした生徒が80%以上。 ○学校評価保護者アンケートにおいて、「学校は、安全・安心で、いじめのない学校・学級づくりに努めている」の肯定的評価90%以上。	・人権に関する講演会や集会を実施し、生徒が差別やいじめを見抜く力を養う。 ・保護者、地域と連携したボランティア活動を行う。 ・生徒に対して生活アンケートを実施し、対応する。 ・いじめ対応についての研修等を年間に3回以上行い、いじめの認知、初期対応、指導、再発防止等の共通理解を行う。							
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ○安全に関する資質・能力の育成	●「健康に良い食事をしてる」生徒85%以上 ●「毎日期食をとって登校する生徒94%以上」 ○外部から講師を招いて、学年単位で防災教育を実施する。	・教職員が開発的生徒指導の実践を行う。 ・学級活動や総合学習を中心に、学校教育活動全体で夢や目標、キャリア教育の実践を行う。 ・給食だよりを周知する。 ・家庭科の授業や給食時間の放送を中心に、食に関する関心を高める。 ・日本赤十字社(佐賀支部)から講師を招聘し、生徒を主体とした防災に対する講演、体験会を行う。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 ○勤務時間を意識した働き方の実施	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○「業務改善を推進する・働き方改革を推進している」と回答した教職員75%以上	・教職員一人ひとりが担当する業務について、効率化の視点から見直しを行う。 ・業務記録表を使って、業務改善をすすめる。月当たり80時間以上の超過を減少させる。前年度比10%減、学校閉庁日の設定を実施する。 ・校務分掌や日々の業務について、個人に負担がかからないようにする。また、業務に組織的に対応する体制を構築し、実行する。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○特別支援教育の視点による生徒対応及び支援を要する生徒の早期発見・早期対応	○教員の専門性の向上及び意識の改革 ○「チーム鏡」での組織的な対応	○特別支援の視点による生徒対応力向上した教員が80%以上。 ○学校評価保護者アンケートにおいて、「生徒は学校が楽しい」に肯定的回答80%以上。	・特別支援教育に関する研修会を実施し、共通理解を図る。 ・支援会議の開催と配慮を要する生徒への職員間の情報共有を行う。 ・SCやSSW、医療機関等、外部機関との積極的に連携する。			
○開発的生徒指導の推進	○自己肯定感を高める開発的生徒指導の推進	○「学校が楽しい」と肯定的に答える生徒90%以上 ○生徒会や育友会と連携し、制服の見直しや校則を見直す場の設定	・教育活動全体を通して、役割・出番・承認の場の設定する。 ・生徒会や育友会と連携し、制服や校則の見直しを検討する。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--